

事務事業名		永井隆博士生い立ちの家整備事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課		
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	文化財・文化振興G	課長名	角田 徳幸		
	施策名	〈31〉地域文化の振興		担当者名	高橋 誠二	電話番号	0854-40-1075 (内線) 2231		
	目的対象	市民	意図 地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	社会教育施設管理事業
	基本事業	〈091〉文化芸術の振興	意図 文化芸術活動に親しむ。		項目	中事業	中事業名	永井隆博士生い立ちの家整備事業	
目的対象	市民	意図 文化芸術活動に親しむ。	2	5	4	5	0	8	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
① 市民 ② 市外の人	永井隆博士の「平和を」・「如己愛人」の精神を育んだ幼少期の生活に触れることで、人権意識の醸成に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R3 年度～ R4 年度)	・老朽化により雨漏りしていた「茅葺屋根」を葺き直した。 ・畳やふすまの一部を新調した。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
① 改修工事	工事前は屋根材の老朽化による雨漏りがひどかったため、屋根全体をビニール製のシートで覆い保護した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 永井隆記念館の来館者数	人	0	6,187	4,277	4,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
工事請負費: 23,862千円(繰越分)		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円		13,750	23,862	
		事業費計	千円		0	13,750	23,862	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・工事完了後、記念館と併せて見学する人の数が増加している。 ・工事前、同施設でのイベントは「年1回開催」される程度であったが、工事後は、地域自主組織を中心に「月に数回」イベントが開催されるなど、その注目度も活用頻度も大きく変わった。
② 事業実施するうえでの課題	・事業実施前の課題であった「雨漏り」は解消された。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・修繕工事により課題は解消されたが、この状態を長期間維持するためには、生い立ちの家を覆うように茂っている「裏山の樹木伐採」が必要となる。